

新日本スポーツ連盟の出発宣言

1995年10月8日 新日本体育連盟第21回臨時全国総会

新日本体育連盟は、本日開催した第21回臨時全国総会において、創立以来かかげてきた「新日本体育連盟」という名称を「新日本スポーツ連盟」と改称することを決定し、11月12日の創立記念日をもって実施に移します。わが国のスポーツ界にあって、スポーツという言葉が団体名称に冠するスポーツ組織は、新日本スポーツ連盟をもって嚆矢とします。

わが国においては、戦前・戦中にスポーツが敵性文化、自由主義として排斥されました。このような経験から、スポーツという言葉が団体名称に用いることは、スポーツ関係者が長年にわたりなし得なかったのです。時あたかも戦後50年、この歴史的時点に新名称「新日本スポーツ連盟」を宣言することは、わが国のスポーツの歴史に新しいページを開く瞬間だと言わねばなりません。

この歴史的な船出にあたり、創立宣言の「体育・スポーツが少数の人の独占物であった時代は過ぎました。それは万人の権利でなければなりません」という基本理念を想起し、スポーツを国民の権利として確立するために奮闘することをあらためて誓うものです。

スポーツは人間だけがもつ文化です。そして、今やスポーツは大きな広がりへと進歩をとげ、国民生活にとって不可欠なものとなっています。それはなによりも、スポーツが健康と人格形成にとって欠くことのできないものであり、普遍的価値である人権、自由、平和、民主主義、社会進歩に貢献することのできる文化であるということに根ざしています。

しかし、一方において、今日スポーツを商業主義的に利用したり、政治的に利用したりする動きも強められています。スポーツのもつ本質的な価値とわが国のスポーツの現状は、スポーツを民主的に、また文化的に発展させる運動と、それをおし進める組織の必要性を要請しています。

私たちは、この時代の要請に応じて30年間「新日本体育連盟」として、スポーツを国民の権利として確立するために運動を展開してきました。そして、本日この30年の歴史と伝統をふまえ、21世紀を展望するにふさわしい名称として「新日本スポーツ連盟」を決定しました。

私たちは日常的なスポーツ活動の規模と水準を大きく発展させ、国民のスポーツ要求実現とその組織化のために活動します。第20回全国スポーツ祭典は、広範なスポーツ関係者の賛同の広がりのもとに成功をおさめました。また新しい競技種目の組織化など、組織的な発展がはかられています。

同時に私たちは、スポーツを国民の権利として確立するために、広範なスポーツ関係者、国民各層との協力・共同を発展させます。「サッカーくじ」導入反対のたたかい、反核・平和マラソンのとりくみは、スポーツの文化的な荒廃を許してはならない、「スポーツは平和とともに」になければならないという、共通の願い、目的のもとに展開された国民共同の運動として大きな成果をあげて前進しています。

こうした活動、組織、運動が前進、高揚するなか、私たちは創立30周年という節目を迎え、新しい名称の確定を契機に、スポーツを国民の権利として確立するために、そして、スポーツの民主主義的文化的発展のために、21世紀にむけて大きく羽ばたくことを内外に宣言するものです。